

## 【参考調査】インターネット利用と読書の関係

インターネット利用と読書との関係については、平成31年3月に鳥取県教育委員会が策定した「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第4次計画)」において、インターネット利用の普及・低年齢化にかんがみ、インターネット利用と読書活動に関する実態等を把握し、今後の方向性を検討することとしているため、本調査においてインターネット利用と読書活動との関連をみるために、読書習慣についてあわせて調査を行った。この結果については、同ビジョンの計画期間中に別途実施予定の「子どもの読書活動に関するアンケート」調査結果とあわせ、子どもの読書活動推進に関する検討の中で活用していく。

なお、本文中の「H29調査」は、H29に鳥取県教育委員会が実施した「読書に関するアンケート調査」を指す。

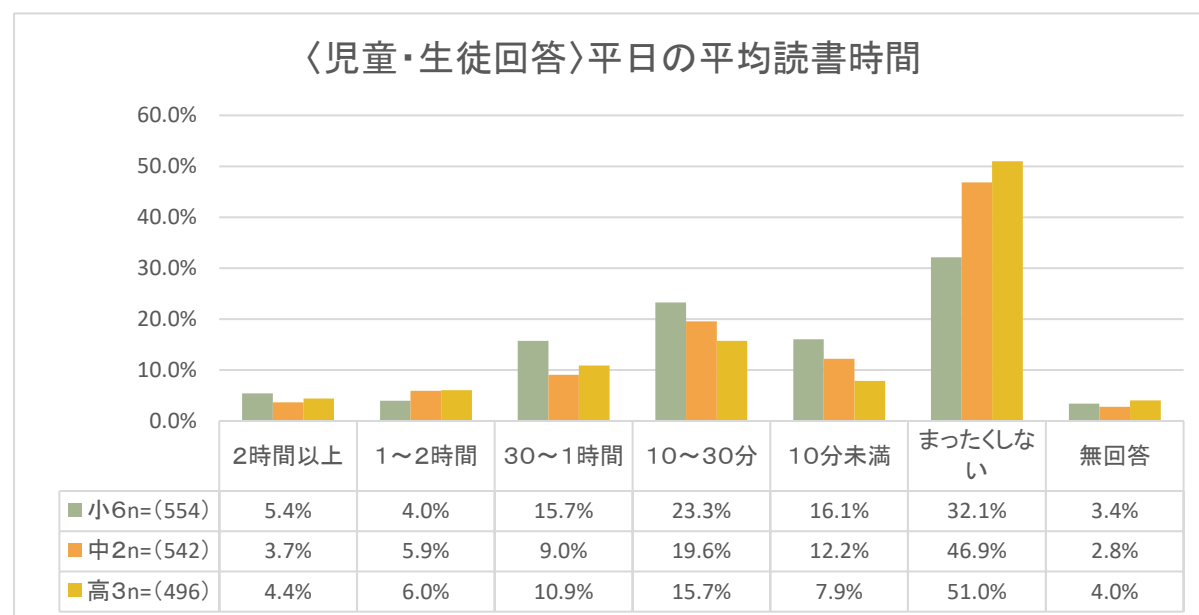
### 【児童・生徒】

#### (1) 読書習慣

〈児童・生徒〉Q4. 平日(月曜日から金曜日)に、読書を1日平均どのくらいしていますか。

(一斉読書や朝読書はのぞく、まんがや雑誌ものぞく、電子書籍を含む)

(対象:全回答者)



#### 〈平日の読書時間〉

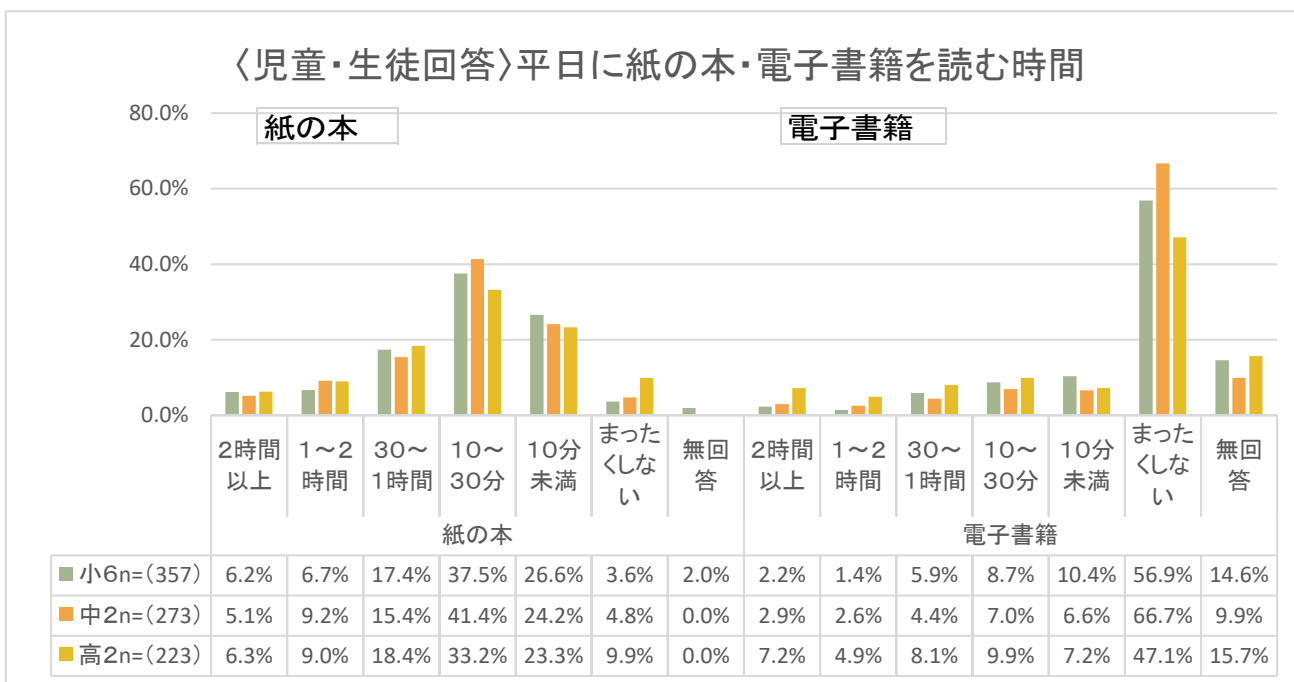
- ・平日に30分以上読書をしている児童・生徒は、小6で25.1%、中2で18.6%、高2で21.3%であった。
- ・中2、高2では、平日全く読書をしない生徒が約半数いる。

(参考)平日に本を全く読んでいない割合

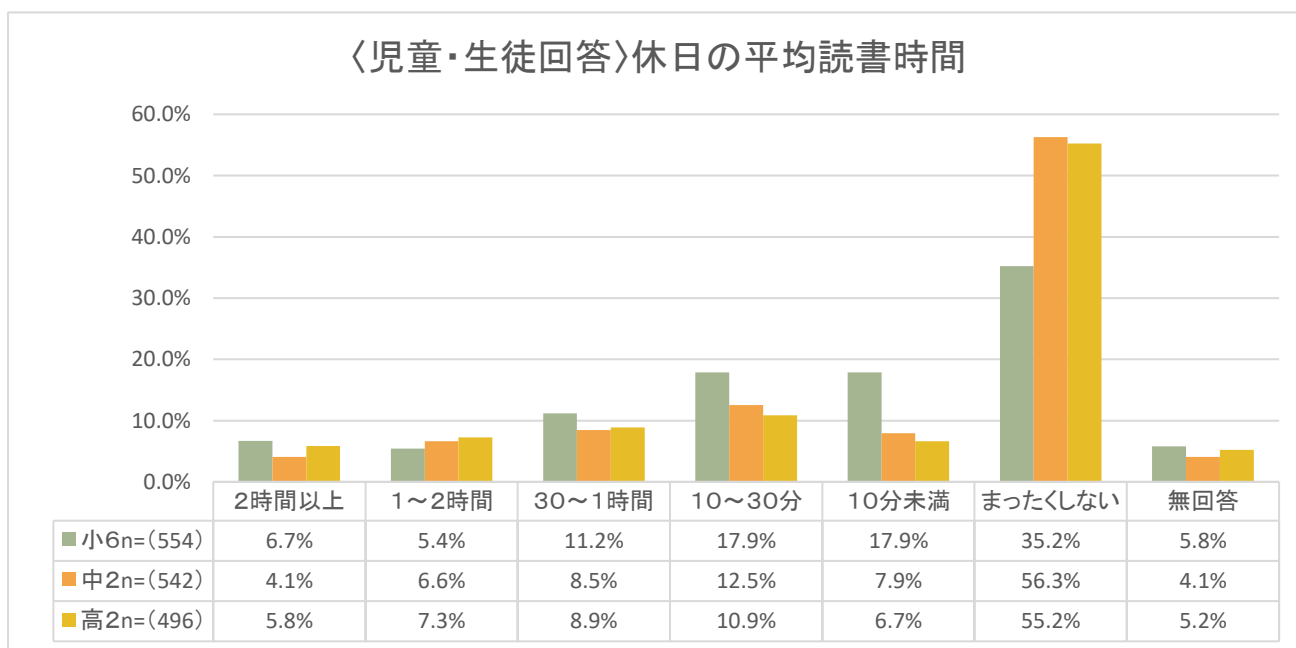
〔読書に関するアンケート調査 (H29鳥取県教育委員会)〕

小6:17.8% 中3:32.8% 高2:52.9%

〈児童・生徒〉Q5. Q4で答えた時間のうち、紙の本・電子書籍を読む時間は、それぞれどのくらいですか。  
(いずれも、まんが・雑誌はのぞきます)(対象:平日に本を読む児童・生徒)



〈児童・生徒〉Q6. 休日(土曜日・日曜日)に、読書を1日平均どのくらいしていますか。  
(まんが・雑誌はのぞく、電子書籍を含む)(対象:全回答者)



〈休日の読書時間〉

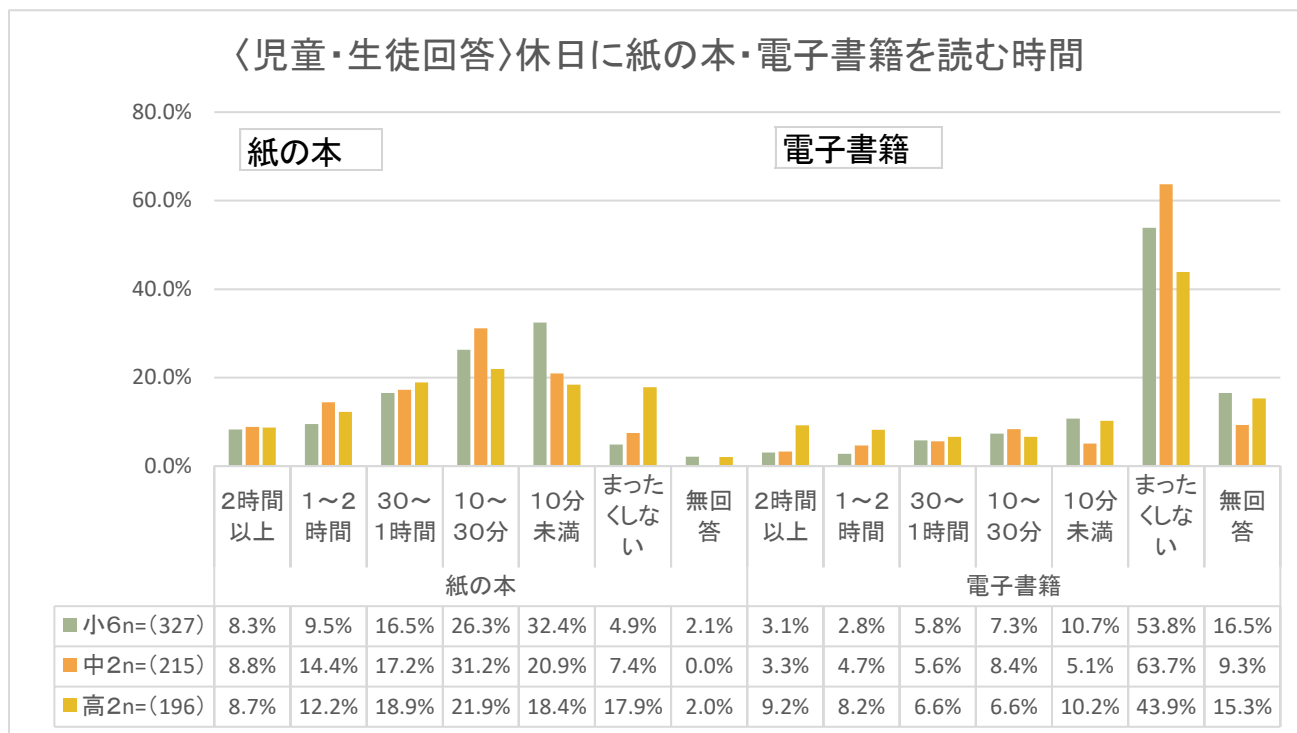
- ・休日に30分以上読書をしている児童・生徒は、小6で23.3%、中2で19.2%、高2で22.0%であった。
- ・中2、高2では、休日全く読書をしない生徒が半数をこえる。

(参考)休日に本を全く読んでいない割合

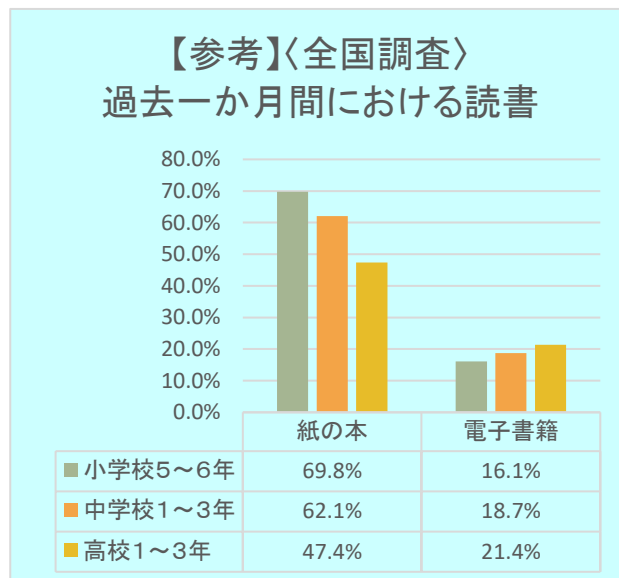
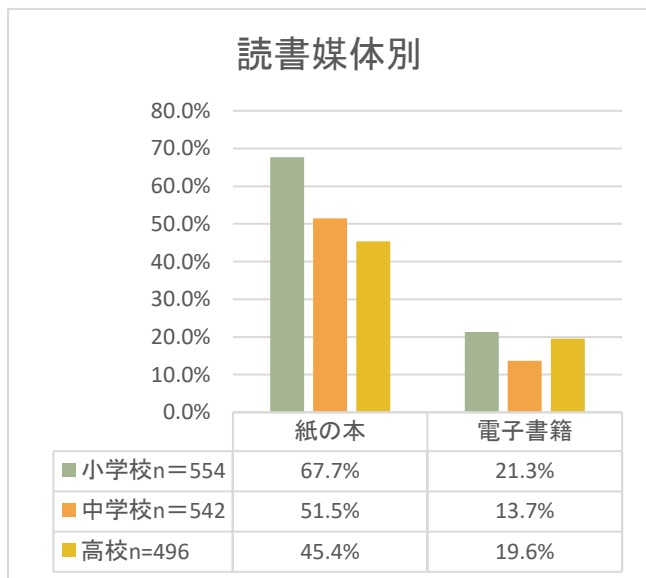
〔読書に関するアンケート調査 (H29鳥取県教育委員会)〕

小6:24.3% 中3:35.6% 高2:51.3%

〈児童・生徒〉Q7. Q6で答えた時間のうち、紙の本・電子書籍を読む時間は、それぞれどのくらいですか。  
 (いずれも、まんが・雑誌はのぞきます)  
 (対象:休日に本を読む児童・生徒)



(2) 媒体別の読書実態



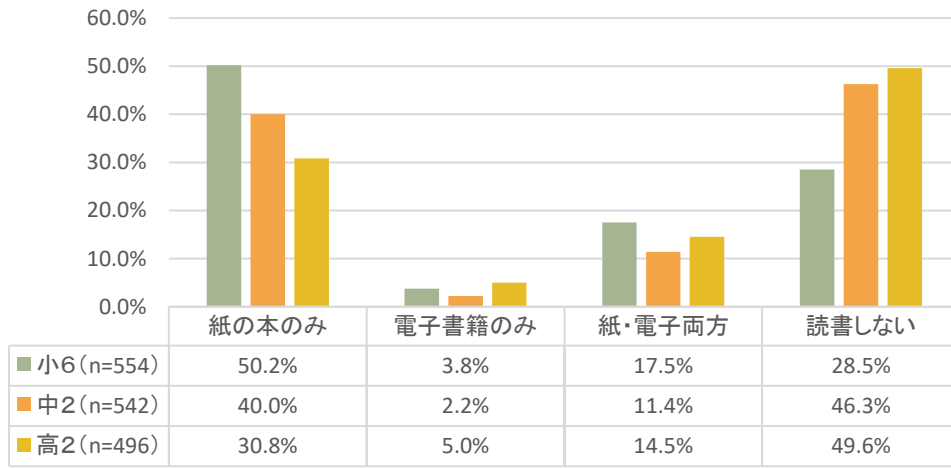
出典:「平成30年度文部科学省委託調査 子供の読書活動の推進等に関する調査研究」((株)創建)

〈紙の本による読書・電子書籍による読書〉

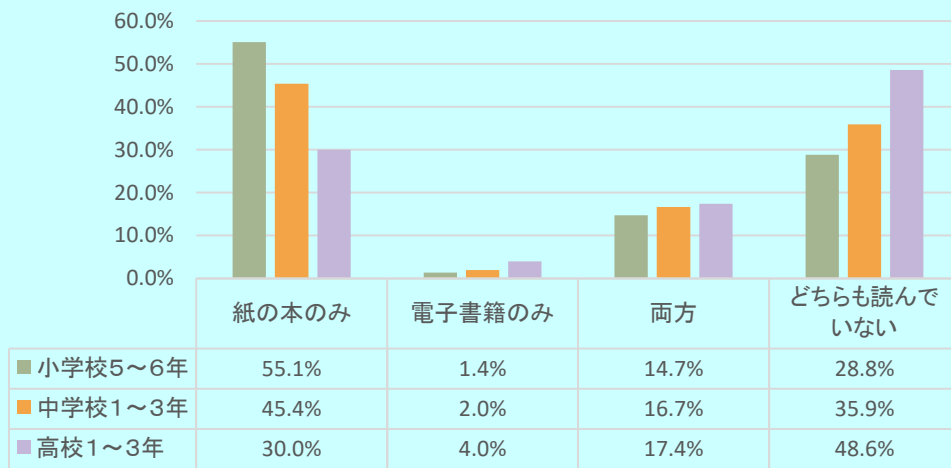
・紙の本については、学校種が上がるにつれて読書をしなくなる傾向がある。全国調査においては電子書籍による読書は学校種が上がるにつれて増加する傾向にあるが、本調査では小6の電子書籍利用が最も高く、次いで高2が高かった。

※全国調査と本調査では対象学年が異なり、全国調査においては紙の本による読書から学校における一斉読書・朝読書を除いていない(本調査では除いている)等、単純に比較はできない(以下同じ)。

### 読書媒体別の読書実態



### 【参考】〈全国調査〉媒体を組み合わせた読書実態



出典:「平成30年度文部科学省委託調査 子供の読書活動の推進等に関する調査研究」((株)創建)

#### <紙の本による読書と電子書籍による読書の関係>

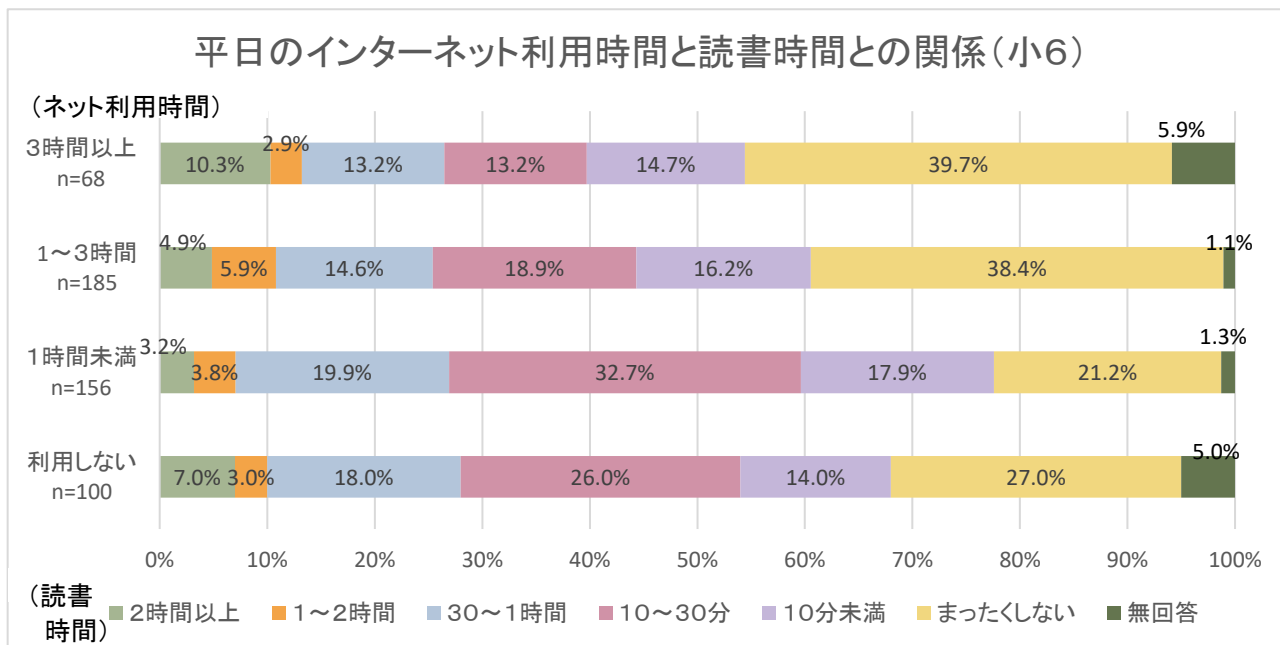
・読書をした者の中では、いずれの学校種においても紙の本のみで読書した者が最も多く、次いで両方で読書をした割合が高く、電子書籍のみで読書をした割合は低い。このことは全国調査と同様である。

(3) インターネット利用時間と読書時間の関係

※「利用しない」は、「インターネットを利用していない」及び「平日(休日)は使わない」の合計値である。

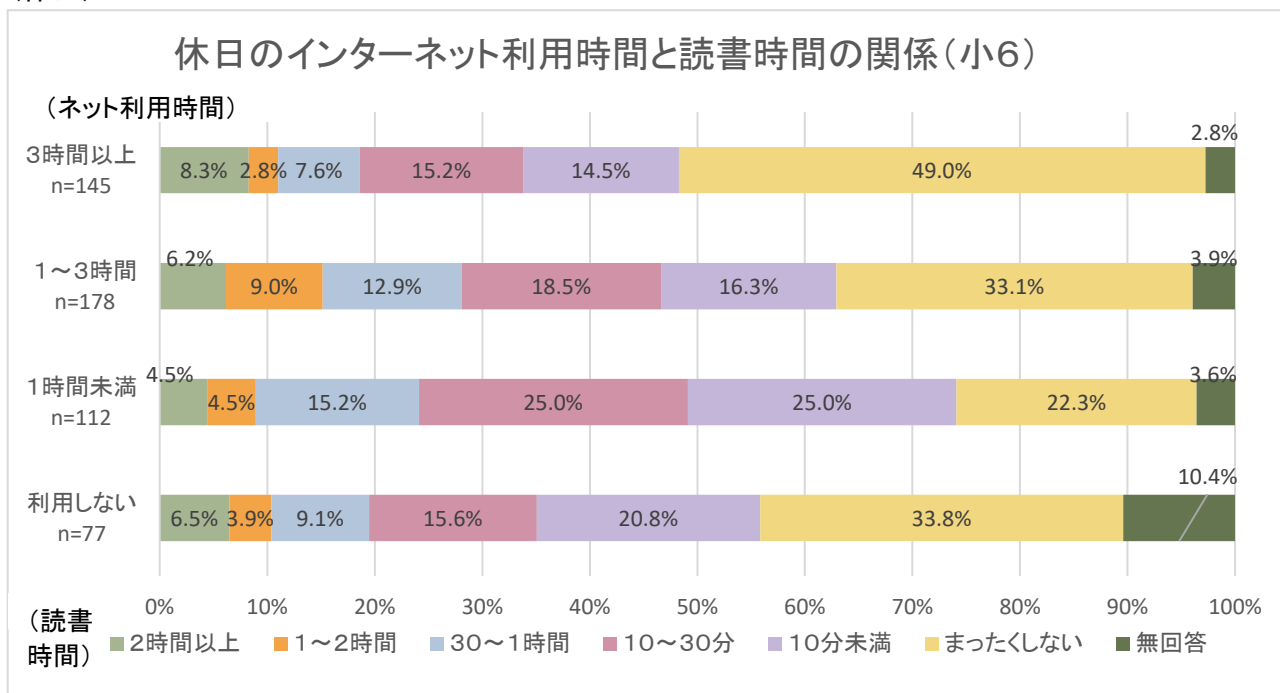
【小学6年生】

(平日)



※ネット利用時間について「わからない」及び「無回答」を除いている。以下同様。

(休日)



＜小6のインターネット利用時間と読書時間の関係＞

- ・小6の「読書をまったくしない」割合は、ネット利用時間が長くなるほど増えているが、「ネットを利用しない」場合には1時間未満利用する場合よりも高い。
- ・一方、「2時間以上読書をする」割合についても、ネット利用時間が長くなるほど増加するが、「ネットを利用しない」場合には1時間未満利用する場合よりも高い傾向があり、1時間未満ネットを利用している場合に一番低い。
- ・これらから、長時間のネット利用は読書時間を減少させるが長時間にわたらないネット利用は読書傾向に対してプラスに働く可能性があること、ネットを利用することで読書をしなくなる層のほか、ネットも読書も長時間する層も存在することがわかる。

(参考) 1か月に1冊も本を読まなかった理由(H29調査)小6の主な項目

- スポーツ少年団や習い事があるから 34.0%
- ゲームやテレビ・インターネットのほうが楽しいから 20.8%
- 本を読みたいと思わないから 22.6%

- ・ネット長時間利用者(3時間以上)と、(1)読書習慣「平日(休日)の平均読書時間」における読書を「まったくしない」割合(全体)の差は大きく、特に休日に差が開いている。ネット利用の低年齢化・長時間化に関する啓発と合わせて、小学生がネット利用以外の休日の過ごし方のひとつとして「読書」に関心を持つような取組が必要。

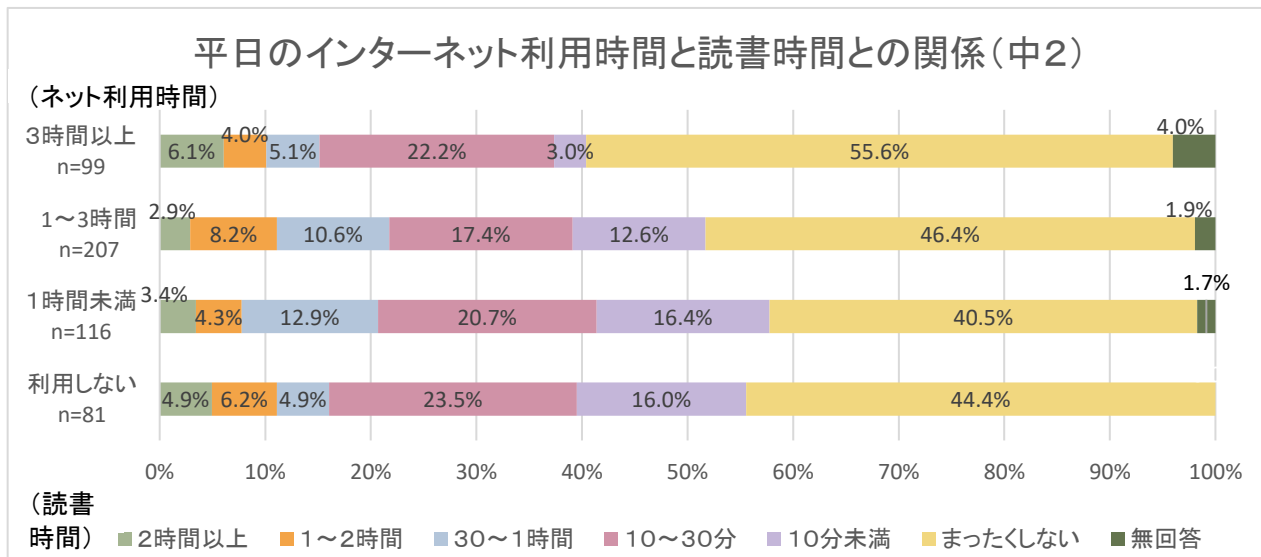
○読書を「まったくしない」割合(小6)

	ネット3時間以上	全体	差
平日	39.7%	32.1%	7.6ポイント
休日	49.0%	35.2%	13.8ポイント

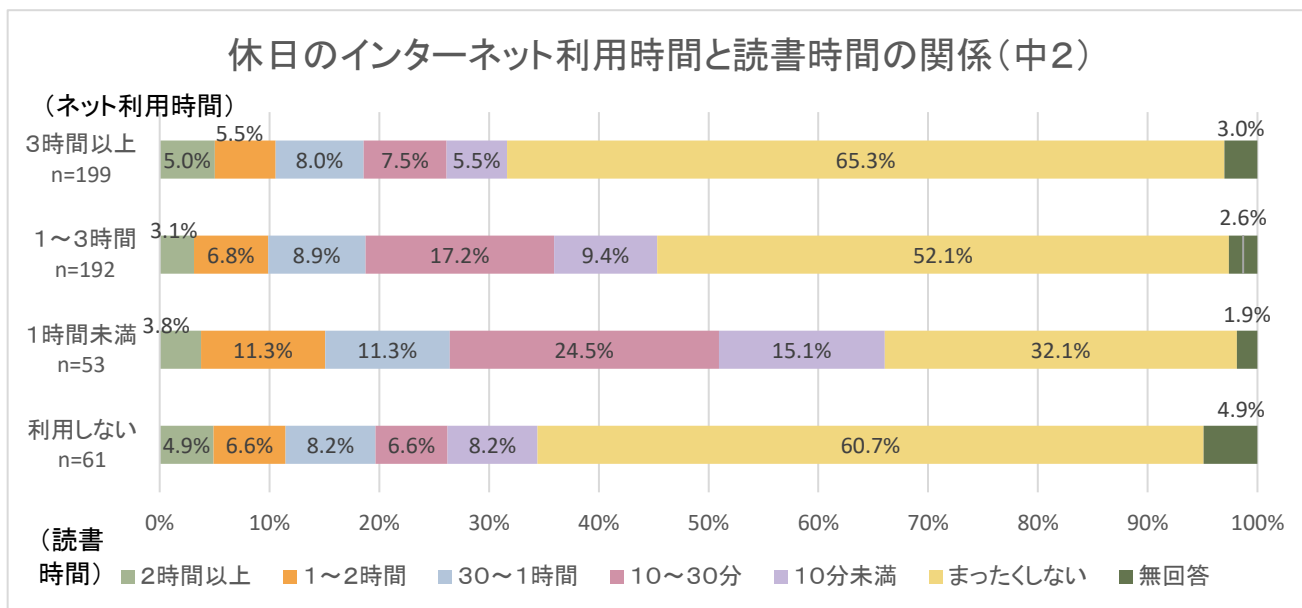
※「休日」においては、中高の同様の比較よりも特に差が大きい。(詳細は各学校種の欄に掲載)

【中学2年生】

(平日)



(休日)



＜中2のインターネット利用時間と読書時間の関係＞

- ・中2の「読書をまったくしない」「2時間以上読書をする」割合と「インターネット利用時間」との関係については、小6と同様の傾向が見られた。
- ・中2の「読書をまったくしない」割合は全体では小6より高く、高2より低いが、3時間以上ネットを利用する者については、小6だけでなく高2よりも高くなっている。

○ネット利用3時間以上で読書を「まったくしない」割合

(平日)小6 39.7% 中2 55.6% 高2 51.6%

(休日)小6 49.0% 中2 65.3% 高2 55.3%

○ネット利用時間にかかわらず、読書を「まったくしない」割合〔再掲〕(1)読書習慣

(平日)小6 32.1% 中2 46.9% 高2 51.0%

(休日)小6 35.2% 中2 56.3% 高2 55.2%

○読書を「まったくしない」割合(中2)

	ネット3時間以上	全体	差
平日	55.6%	46.9%	8.7ポイント
休日	65.3%	56.3%	9.0ポイント

- ・休日においては、ネット利用3時間以上(全体の36.7%)のうち、65.3%が読書をまったくしていないという結果で、全体の23.9%に相当する。読書をしない理由としてH29調査では4割近くが「本を読みたいと思わないから」であり、本を手取るような方策をこれまで以上に充実していく必要がある。

(参考)1か月に1冊も本を読まなかった理由(H29調査)中3の主な項目

本を読みたいと思わないから 41.2%

勉強・塾があるから 16.5%

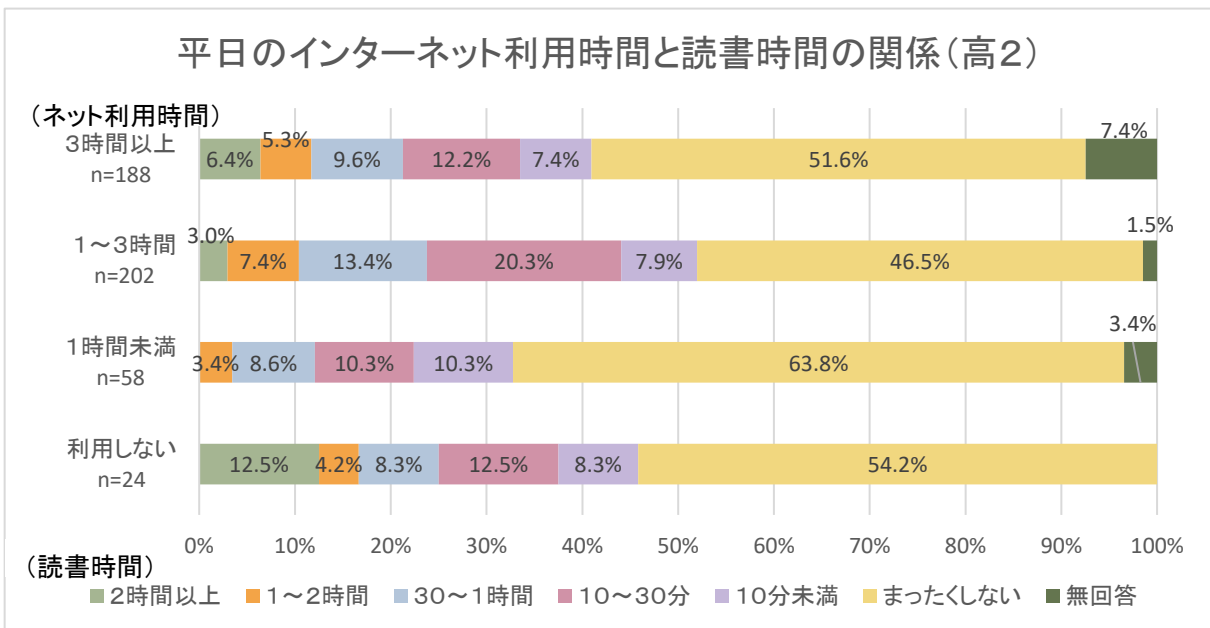
読書以外に興味があるから 14.1%

ゲームやテレビ、インターネットのほうが楽しいから 11.8%

【高校2年生】

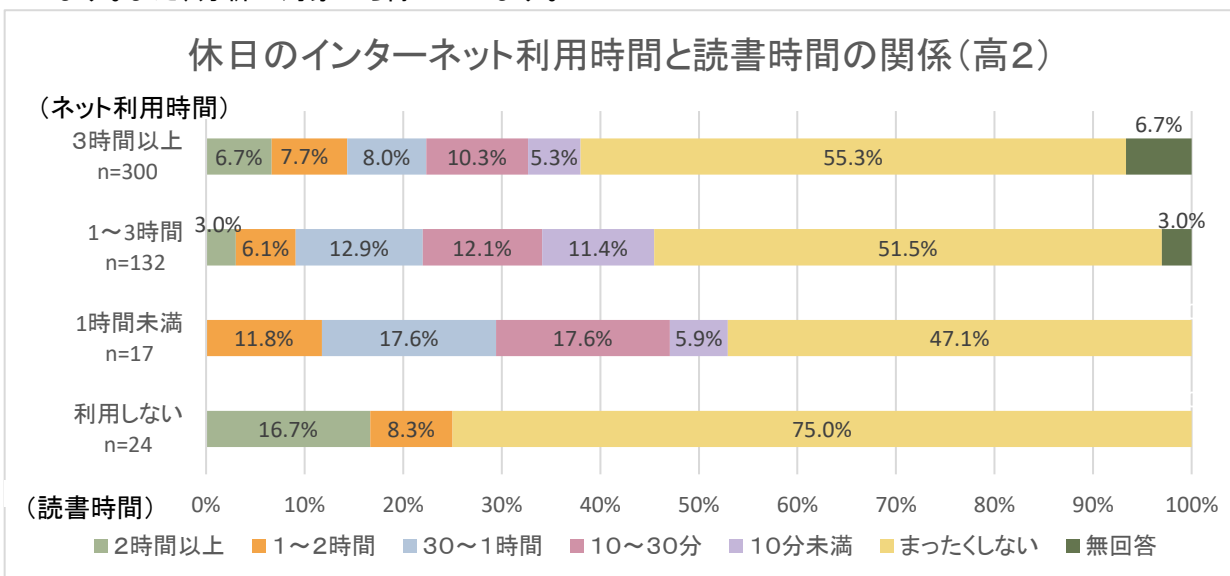
(平日)

※ネットを「利用しない」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



(休日)

※休日における「ネット利用時間1時間未満」「ネット利用しない」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



<高2のインターネット利用時間と読書時間の関係>

- ・高2については、休日に「読書をまったくしない」割合がネット利用時間が長くなるほど増えていることは小6・中2と同様の傾向であったが、平日については、ネットを1時間未満利用する場合は「読書をまったくしない」割合が一番高く、1~3時間程度利用する場合は最も低かった。
- ・「2時間以上読書をする」割合について、平日・休日ともにネット利用時間が長くなるほど増加する傾向は小6・中2と同様であった。
- ・なお、高2については、ネット長時間利用者(3時間以上)と全体の「読書をまったくしない」割合に差はみられない。



(参考)

○読書を「まったくしない」割合(高校)

	ネット3時間以上	全体	差
平日	51.6%	51.0%	0.6ポイント
休日	55.3%	55.2%	0.1ポイント

○1か月に1冊も本を読まなかった理由(H29調査)高2の主な項目

習い事(部活)があるから 44.3%

本を読みたいと思わないから 26.6%

ゲームやテレビ、インターネットのほうが楽しいから 8.9%

<インターネット利用時間と読書時間の関係(まとめ)>

・平日における高2を除き、どの学校種でも「読書をまったくしない」割合は、ネット利用時間が長くなるほど増えている。

ただし、「ネットを利用しない」場合には1時間未満利用する場合よりも高い(小6・中2のみの分析。高2はサンプル数が少ないため利用しない層の分析を行っていない)。

・一方どの学校種においても「2時間以上読書をする」割合も、ネット利用時間が長くなるほど増加している。

ただし、「ネットを利用しない」場合には1時間未満利用する場合よりも高い傾向があるため、1時間未満ネットを利用している場合に一番低い(小6・中2のみの分析。高2はサンプル数が少ないため利用しない層の分析を行っていない)。

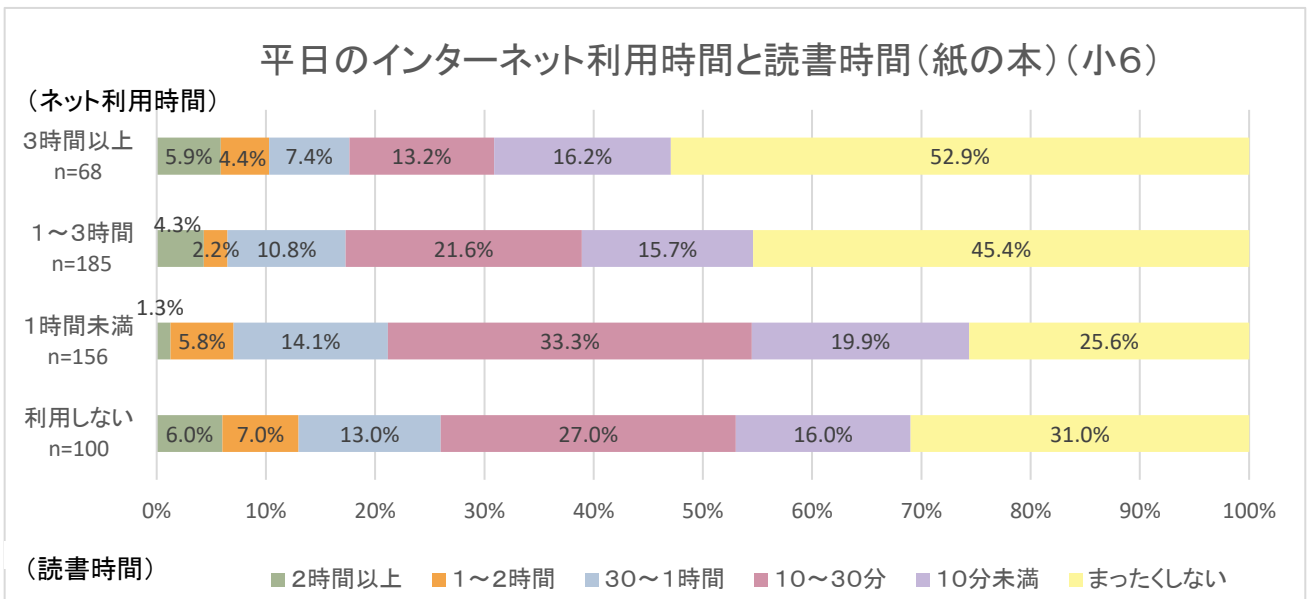
・これらから、長時間のネット利用は読書時間を減少させるが長時間にわたらないネット利用は読書傾向に対してプラスに働く可能性があること、ネットをすることで読書をしなくなる層のほかネットも読書も長時間する層も存在することがわかる。

(4) インターネット利用時間と読書時間(紙の本・電子書籍別)の関係

※「利用しない」は、「インターネットを利用していない」及び「平日は使わない」の合計値である。

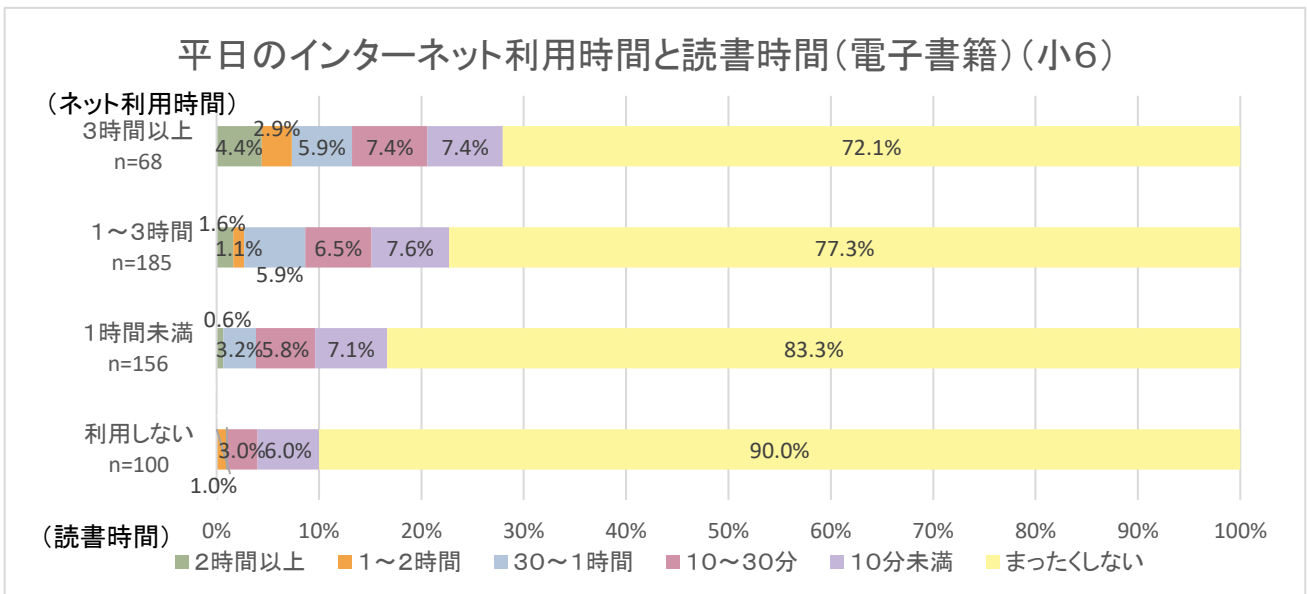
【小学6年生】

(紙の本)



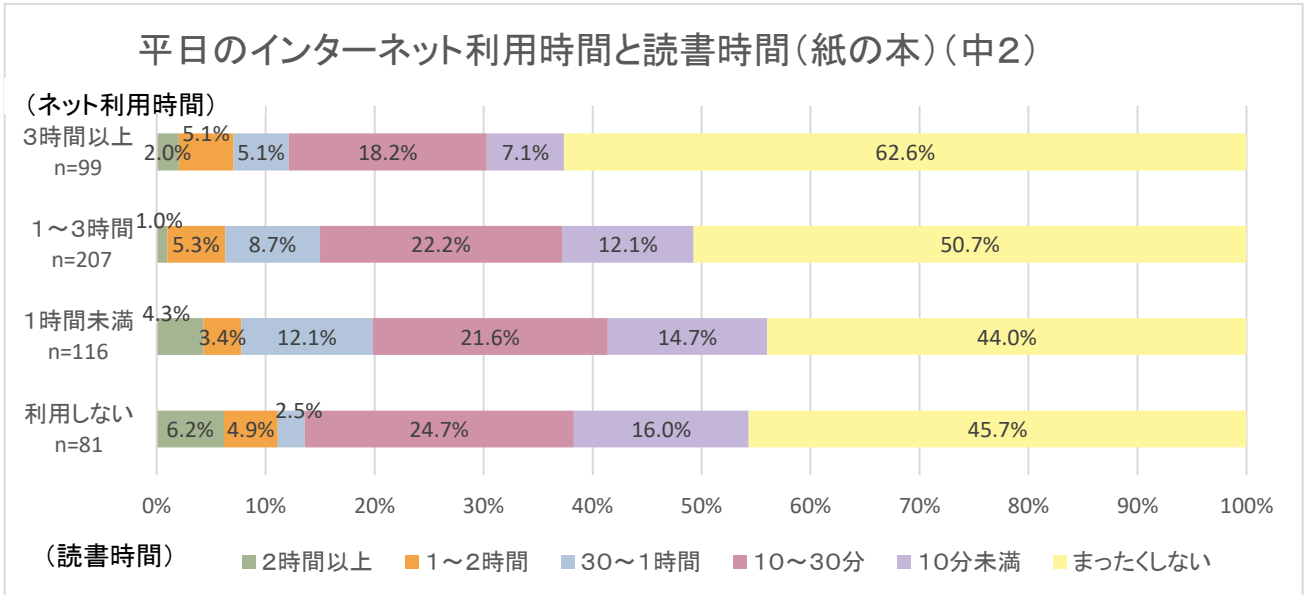
※ネット利用時間について「わからない」及び「無回答」を除いている。以下同様。

(電子書籍)

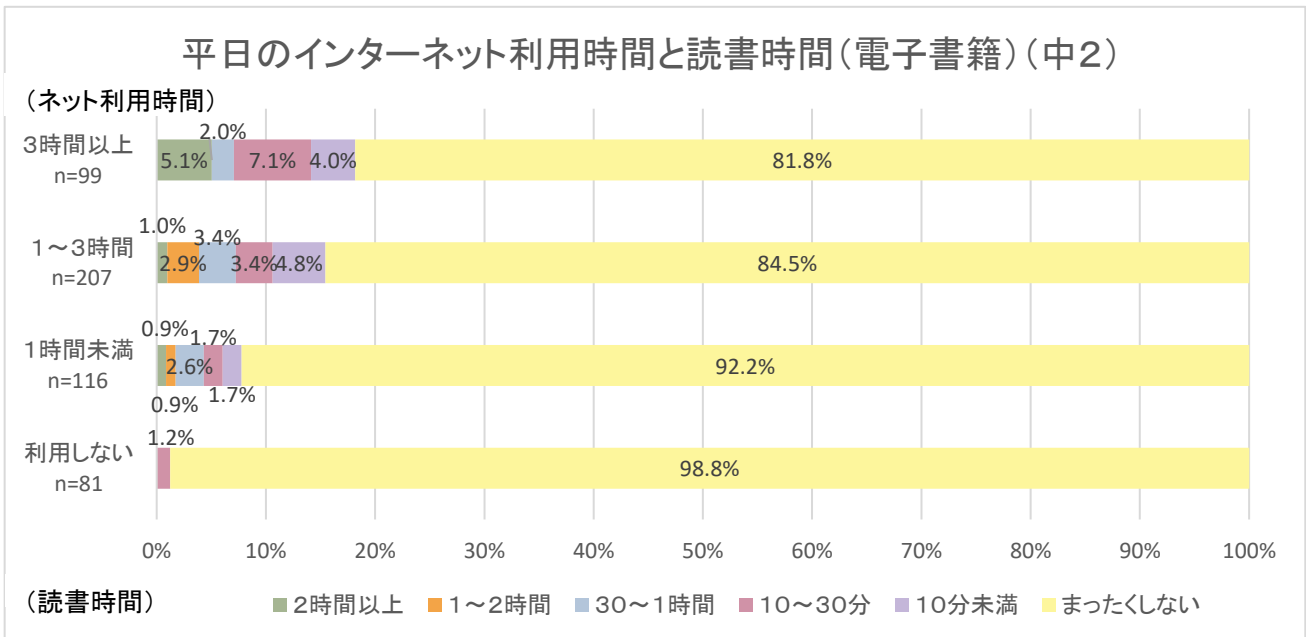


【中学2年生】

(紙の本)



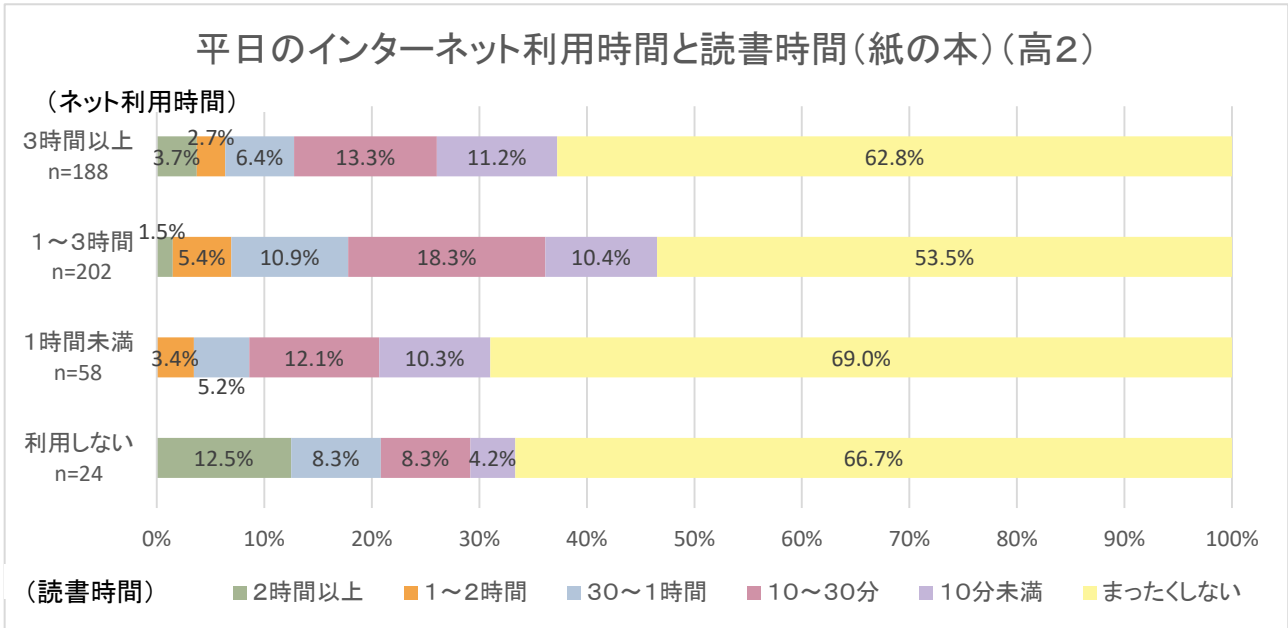
(電子書籍)



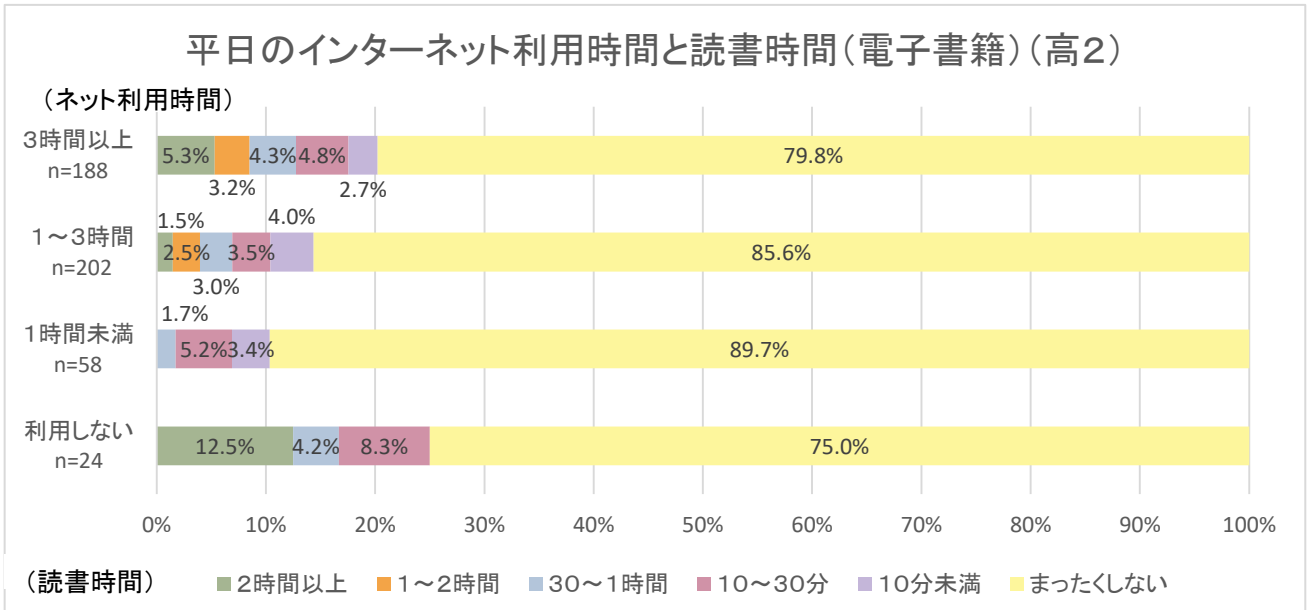
【高校2年生】

※「利用しない」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

(紙の本)



(電子書籍)



<インターネット利用時間と読書時間(紙の本・電子書籍別)>

- ・紙の本による読書時間とインターネット時間との関係は、どの学校種においても(3)でみた読書全体の傾向と同様であった。
- ・電子書籍については、ネット利用時間が長くなるほどまったく読まない割合が減少しており、この点についても全学校種に共通している。

(5) 読書状況・媒体別のインターネット利用内容

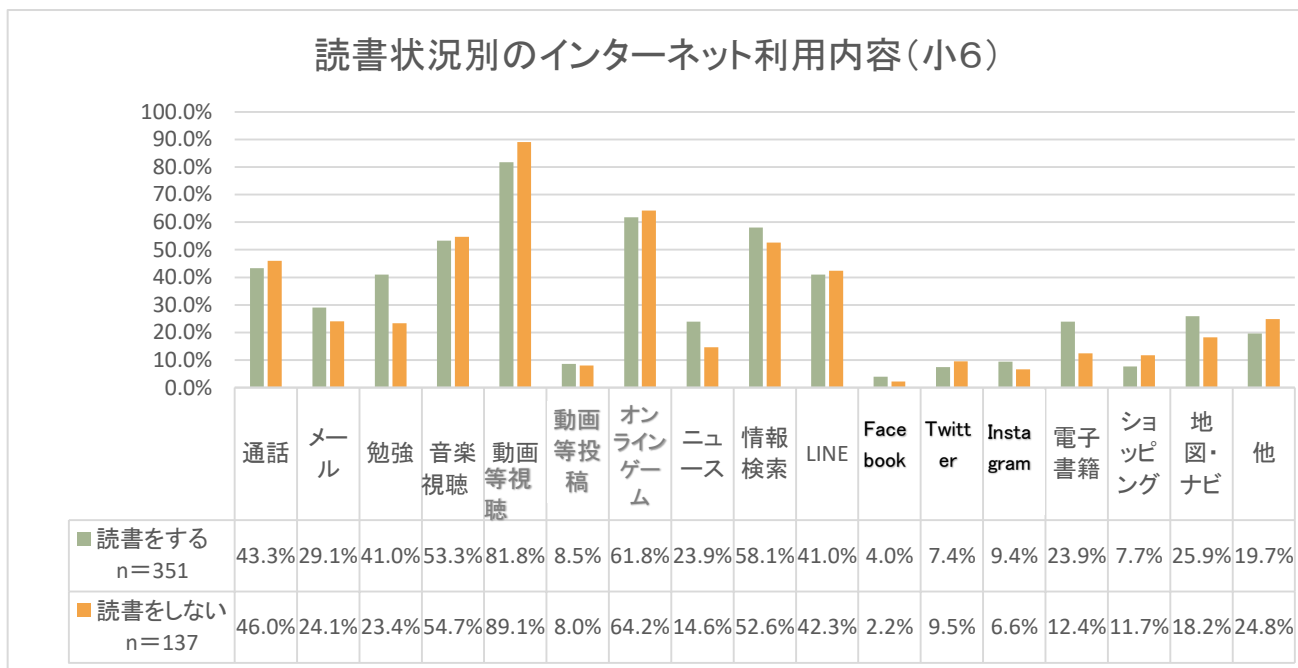
インターネット利用内容(p13～)に関連して、読書の有無別、媒体別に集計した。(学校種別)

※媒体別とは、(2)において調査した「紙の本のみ」「電子書籍のみ」「両方」「読書をしない」の分類によるが、「電子書籍のみ」は標本数が少数(小6:21 中2:12 高2:23)であるため、本表には掲載していない。

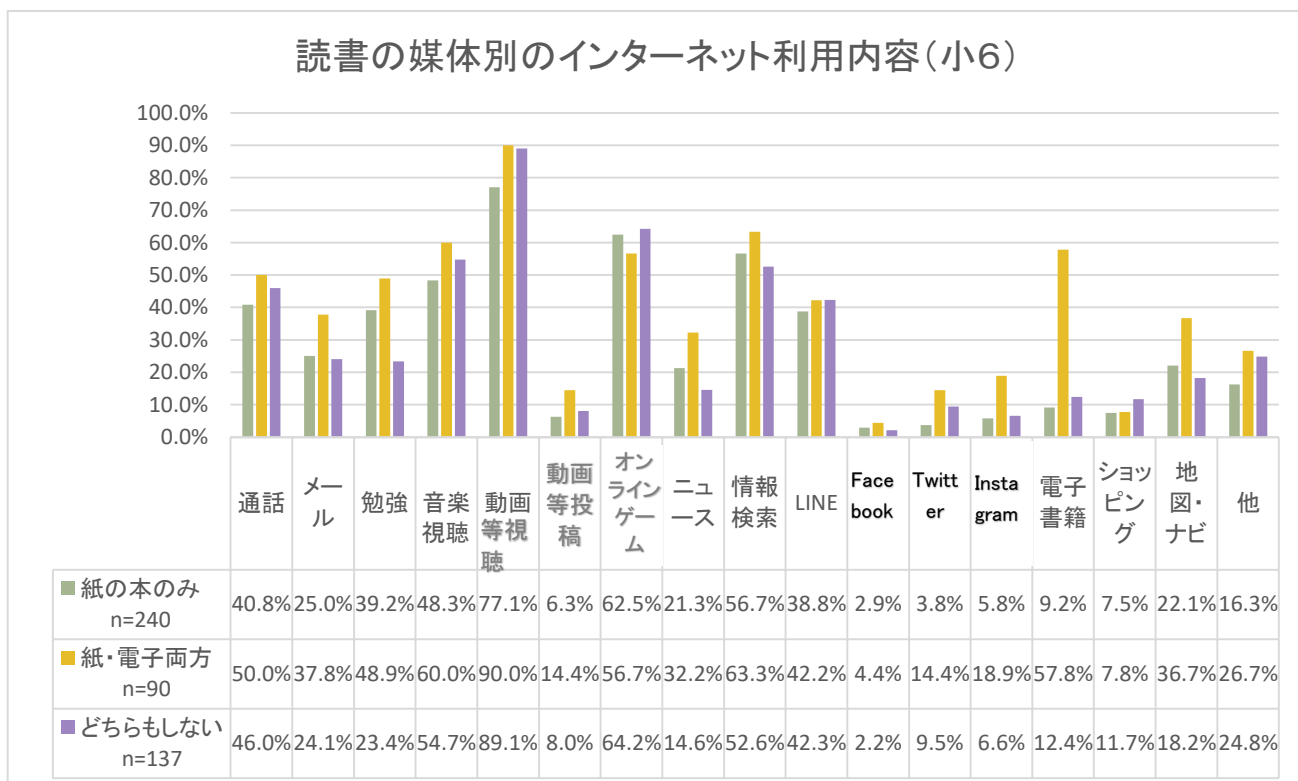
※読書の有無、紙の本・電子書籍別ではまんが・雑誌を含んでいないが、インターネット利用内容における「電子書籍」には、まんが・雑誌を含んでいる。

【小学6年生】

○読書(紙の本・電子書籍)の有無別のインターネット利用内容



○読書の媒体別のインターネット利用内容

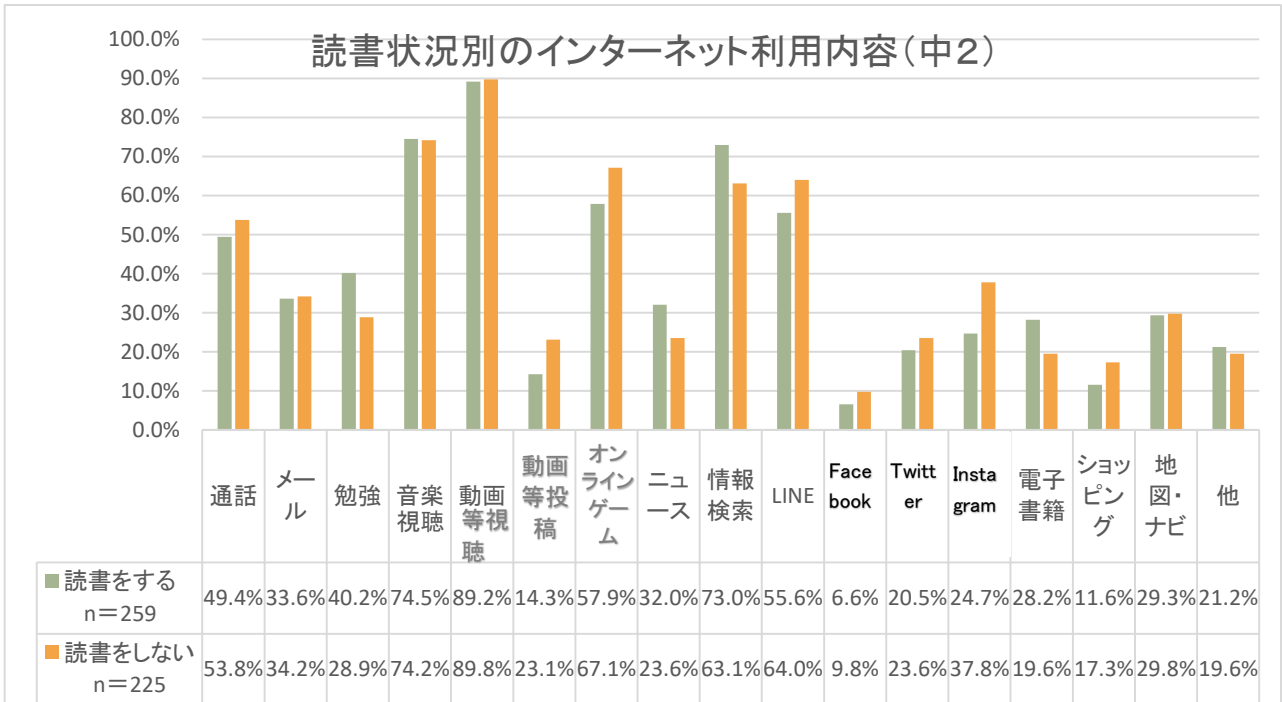


<小6の読書状況・媒体別のインターネット利用内容>

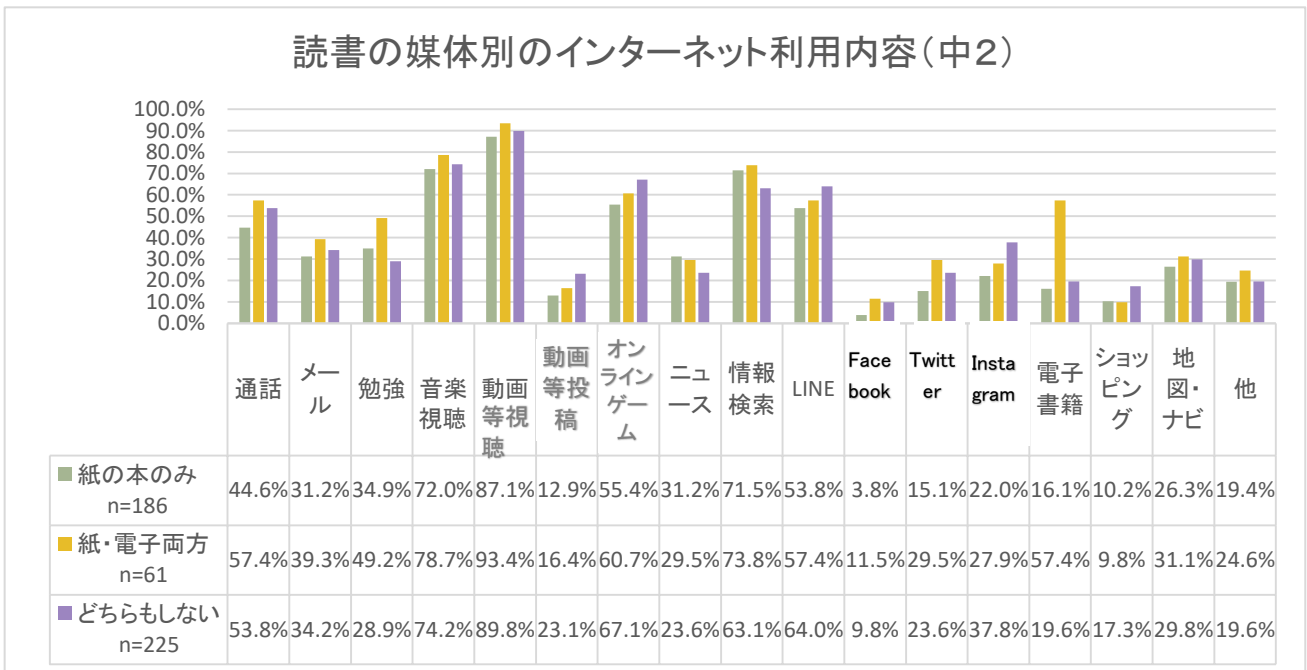
- ・小6において、「読書をする」層は読書をしない層に比べ、インターネットを勉強に利用している割合が17.6ポイント高く、ニュース、情報検索、電子書籍といった情報を得る手段として利用している割合も高かった。
- ・「読書をしない」層については、動画視聴・ゲーム等にインターネットを利用する割合が高かった。
- ・紙の本のみで読書をする層・紙・電子書籍の両方で読書をする層と、読書をしない層を比較した場合、「両方で読書をする」層は、上記で読書をする層の方がよく利用している勉強・ニュース・情報検索も含め、概ねどの用途においてもインターネットを利用している割合が最も高く、この層は積極的にインターネットを利用していることがうかがえる。なお、ゲームについては「読書をしない」層が最も利用割合が高かった。

【中学2年生】

○読書(紙の本・電子書籍)の有無別のインターネット利用内容



○読書の媒体別のインターネット利用内容

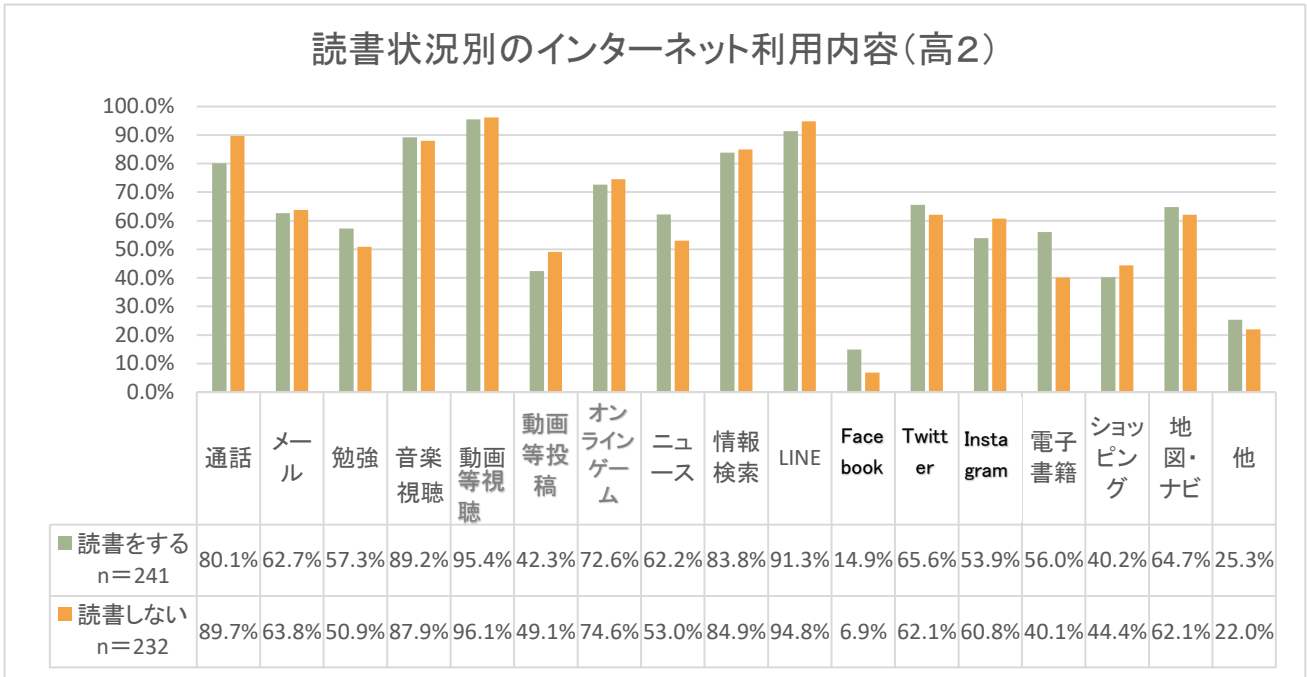


<中2の読書状況・媒体別のインターネット利用内容について>

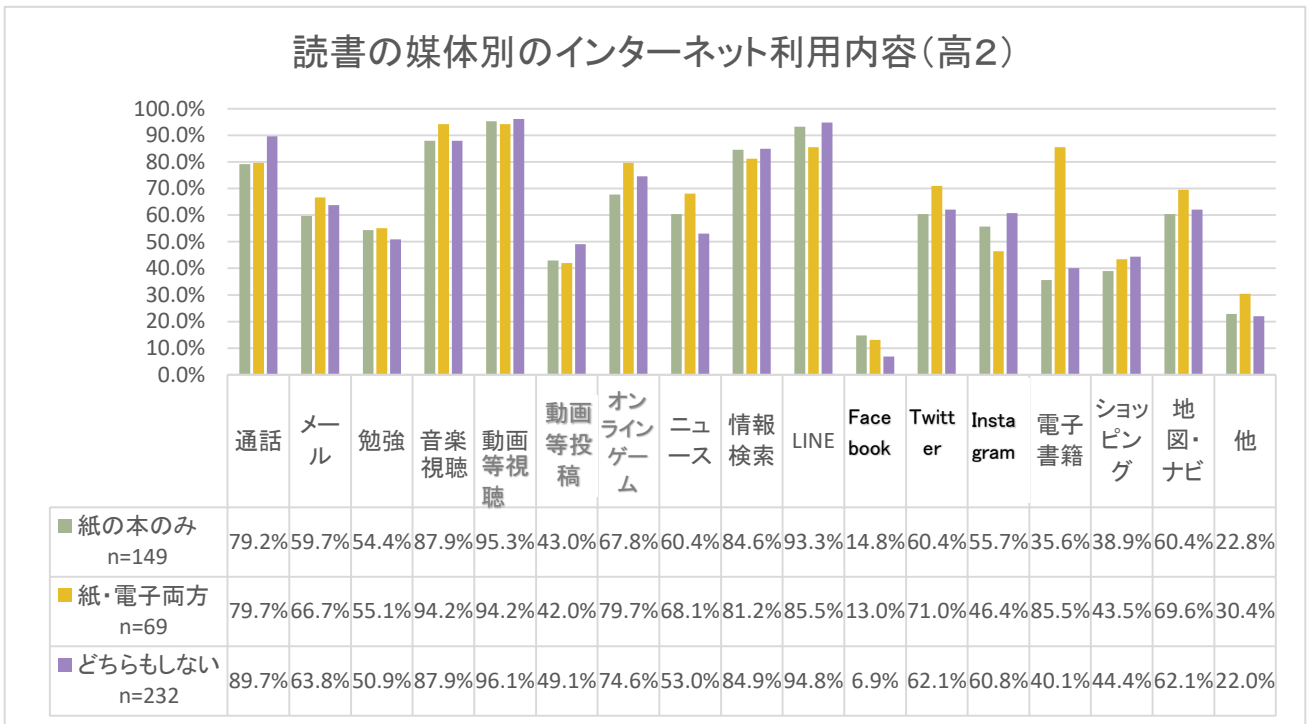
- ・中2についても小6とほぼ同様の傾向であり、「読書をする」層は読書をしない層に比べ、インターネットを勉強に利用している割合が11.3ポイント高く、ニュース、情報検索、電子書籍といった情報を得る手段として利用している割合も高かった。
- ・「読書をしない」層については、動画投稿・ゲームのほかSNSにインターネットを利用する割合が高く、特にInstagramについては読書をしない層の37.8%(読書をする層:24.7%)が利用している。
- ・「紙・電子書籍の両方で読書をする」層が概ねどの用途においても最もインターネットを利用している割合が高いことは小6と同様であるが、ゲーム・LINE・Instagramについては「読書をしない」層が最も利用割合が高かった。なお、「勉強」については「紙・電子書籍の両方で読書をする」層が紙のみで読書をする層の利用を特に大きく上回った(14.3ポイント差)。

【高校2年生】

○読書(紙の本・電子書籍)の有無別のインターネット利用内容



○読書の媒体別のインターネット利用内容



<高2の読書状況・媒体別のインターネット利用内容について>

- ・高2についても、「読書をする」層は読書をしない層に比べ、インターネットを勉強に利用している割合が6.4ポイント高く、ニュース、電子書籍といった情報を得る手段として利用している割合も高かった。
- ・「読書をしない」層について、引き続き動画等視聴・動画等投稿・ゲームにインターネットを利用する割合が高い傾向はあるが、読書をする層との差は中2ほど大きくはない。また、SNSの利用についてはLINE・Instagramで読書をしない層の利用割合が高いが、Facebook・Twitterで読書をしない層の方が高く、全体的に大きな差はない。



- ・小・中で見られた「紙・電子書籍の両方で読書をする」層が概ねどの用途においても最もインターネットを利用している割合が高いという傾向はほとんど見られなくなり、全体の差がなくなっている。

＜読書状況別のインターネット利用内容について(まとめ)＞

- ・どの学校種においても「読書をする」層は読書をしない層に比べ、インターネットを勉強に利用している割合が高く、ニュース、情報検索、電子書籍といった情報を得る手段として利用している割合も高かった(情報検索については高2を除く)。
- ・どの学校種においても「読書をしない」層については、動画、ゲーム等にインターネットを利用する割合が高く、中2においては SNS(特にInstagram)に利用する割合も高かった(小6・高2についてはSNS利用状況に明確な傾向は見られない)。
- ・紙の本のみで読書をする層、紙・電子書籍の両方で読書をする層と、読書をしない層を比較した場合、小6・中2においては「両方で読書をする」層は、概ねどの用途においてもインターネットを利用している割合が最も高く、この層は積極的にインターネットを利用していることがうかがえるが、小6のゲーム・中2のLINEや Instagram については「読書をしない」層が最も利用割合が高かった。また、中2で「勉強」に利用する割合については、「紙・電子書籍の両方で読書をする層」が紙のみで読書をする層の利用を大きく上回った(14.3ポイント差)。なお、高2についてそれぞれの層の差はあまりみられない。

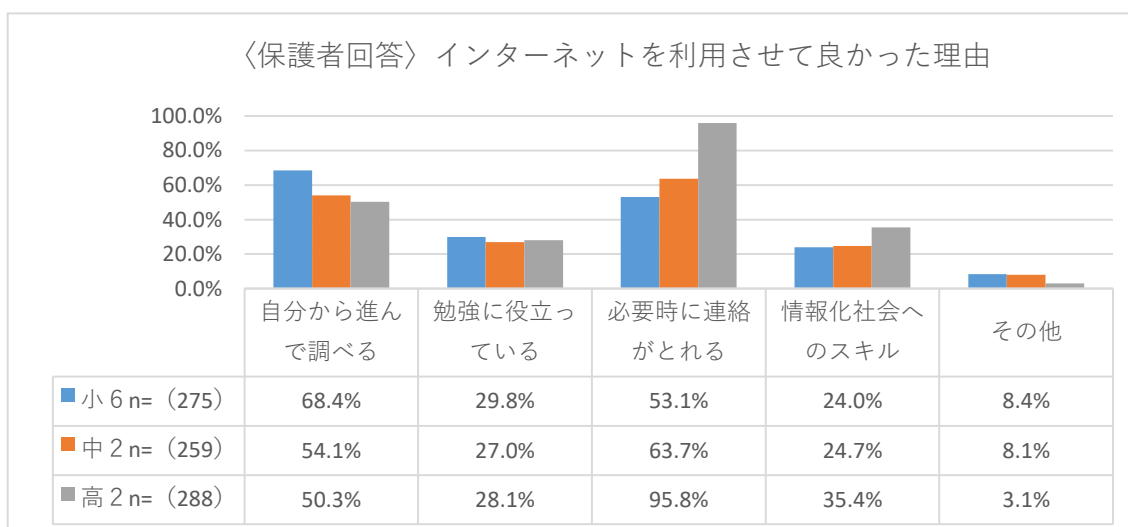
＜インターネット利用と読書の関係について(総まとめ)＞

- ・読書をした者の中では、いずれの学校種においても紙の本のみで読書した者が最も多く、次いで紙・電子書籍の両方で読書をした割合が高く、電子書籍のみで読書をした割合は低い。
- ・「読書をまったくしない」割合「2時間以上読書をする」割合のいずれも、ネット利用時間が長くなるほど増える傾向にあるが、「ネットを利用しない」場合にはいずれも1時間未満利用する場合よりも高く、ネットを1時間未満利用する層が最も読書をしている(小6・中2のみの分析。高2はサンプル数が少ないためネットを利用しない層の分析を行っていない)。長時間のネット利用は読書時間を減少させるが長時間にわたらないネット利用は読書傾向に対してプラスに働く可能性があること、ネットをすることで読書をしなくなる層のほかネットも読書も長時間する層も存在することがわかる。
- ・「読書をする」層は読書をしない層に比べ、インターネットを勉強に利用している割合が高く、ニュース、情報検索、電子書籍といった情報を得る手段として利用している割合も高い一方、「読書をしない」層については、動画等視聴、ゲーム等にインターネットを利用する割合が高く、中2においては SNS(特にInstagram)に利用する割合も高かった。
- ・全体として、小6・中2に比べ、高2についてはインターネット時間による読書時間への影響、または読書状況によるインターネット利用内容の違いはあまりみられなくなる傾向があった。

＜参考＞

保護者調査Q26(p56)における「インターネットを利用して良かった理由」は「自分から進んで調べる」が5～6割、「勉強に役立っている」が3割弱であった。

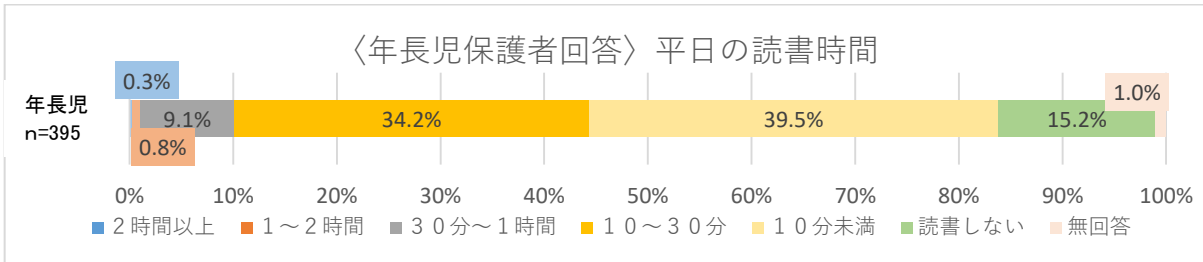
(再掲)保護者調査Q26「インターネットを利用して良かった理由」



【未就学児(年長児)】

(1) 読書習慣

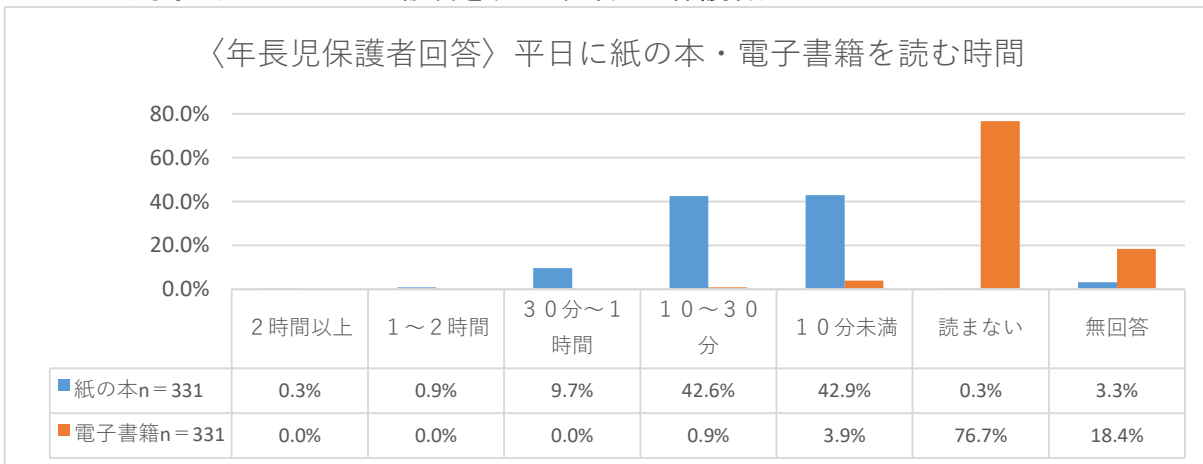
〈保護者〉Q4. あなたのお子様は平日(月曜日から金曜日)に、読書を1日平均どのくらいしていますか。(電子書籍を含み、まんが・雑誌はのぞきます。読み聞かせの時間を含めてください。)(対象:全回答者)



〈平日の読書時間〉

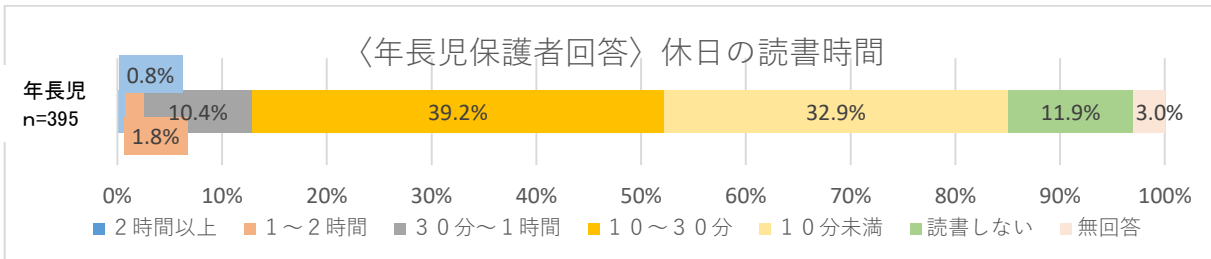
- ・未就学児(年長児)では、全体の83.9%が読書(読み聞かせを含む。以下同様。)をしている。
- ・10分以上読書する割合は約半数の44.4%であり、そのうち30分以上の読書は全体の約1割であった。
- ・また、平日に読書をしない割合は15.2%であった。

〈保護者〉Q5. Q4で答えた時間のうち、紙の本・電子書籍を読む時間は、それぞれどのくらいですか。(まんが・雑誌は除き、読み聞かせの時間を含めてください。)(対象:子どもが平日に読書をする回答した保護者)



〈保護者〉Q6. あなたのお子様は休日(土曜日・日曜日)に、読書を1日平均どのくらいしていますか。(電子書籍を含み、まんが・雑誌はのぞきます。読み聞かせの時間を含めてください。)

(対象:全回答者)

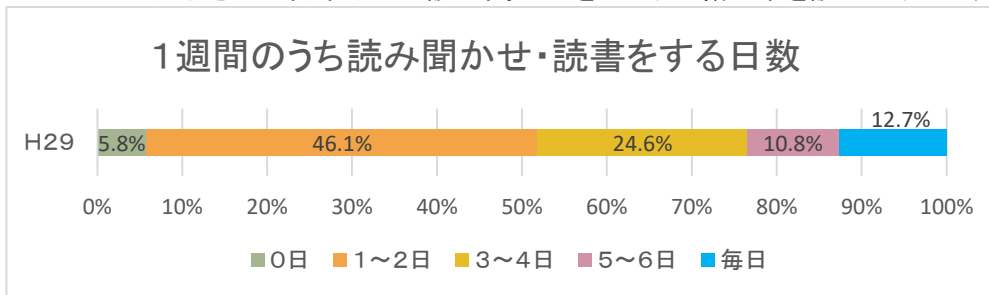


〈休日の読書時間〉

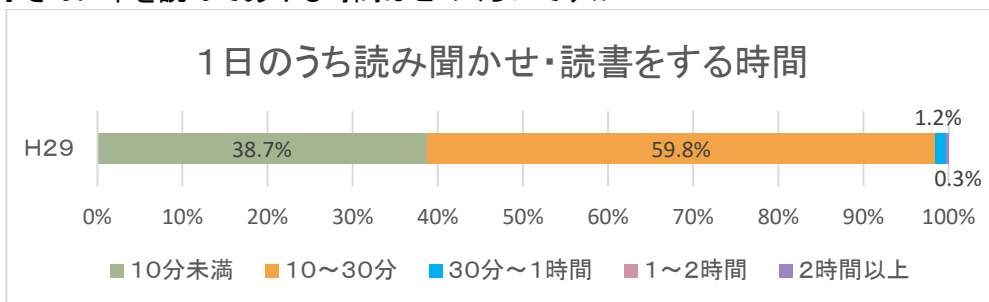
- ・全体の85.1%が読書をしており、平日の83.9%から微増している。
- ・10分以上の読書(10~30分、30分~1時間、1~2時間、2時間以上)の各項目において、いずれも平日より微増しているとともに、10分未満の読書及び読書しない割合が減少している。
- ・なお、H29調査によると、(質問内容が異なるため単純比較はできないが、)読書をする割合は94.2%であり、本調査では休日・平日ともに10ポイント前後低い結果となっている。
- ・平日・休日ともに読書の時間については、「10分未満」「10~30分」が約7割を占めている。

(参考)H29調査

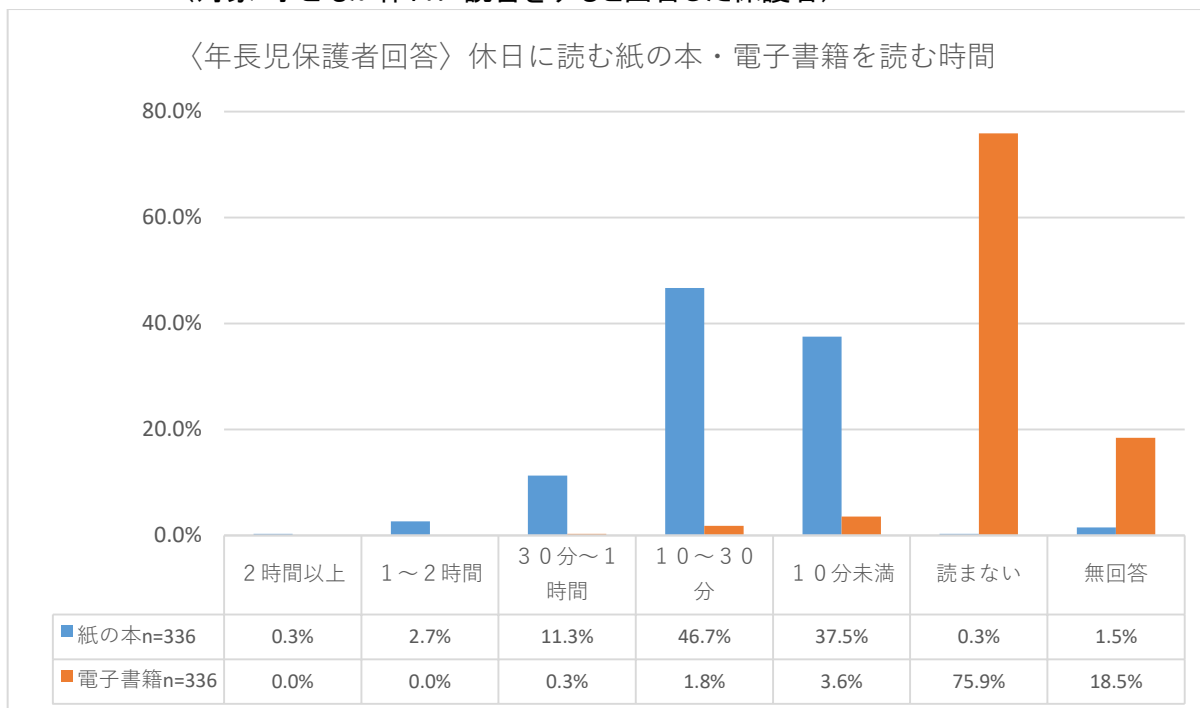
・1週間のうちどれくらいお子さんに絵本などの読み聞かせをしたり一緒に本を読んだりしますか



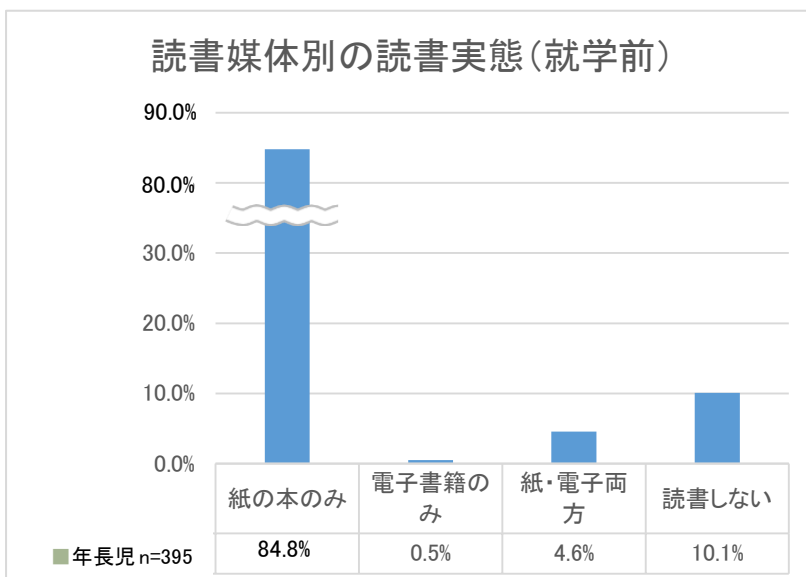
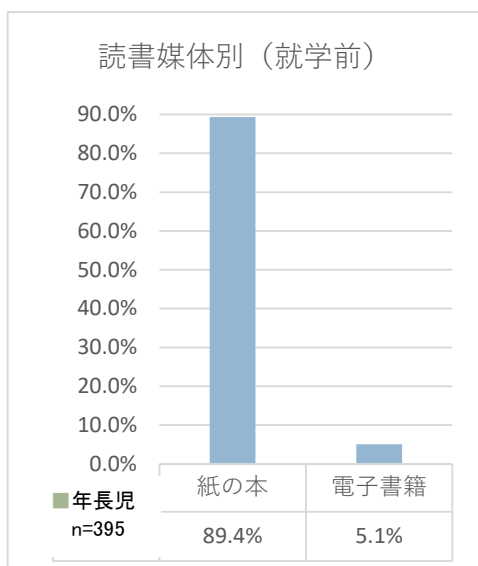
・1日にお子さんに本を読んであげる時間はどのくらいですか



〈保護者〉Q7. Q6で答えた時間のうち、紙の本・電子書籍を読む時間は、それぞれどのくらいですか。  
 (まんが・雑誌はのぞき、読み聞かせの時間を含めてください。)  
 (対象:子どもが休日に読書をする回答した保護者)



## (2) 読書媒体別の読書実態

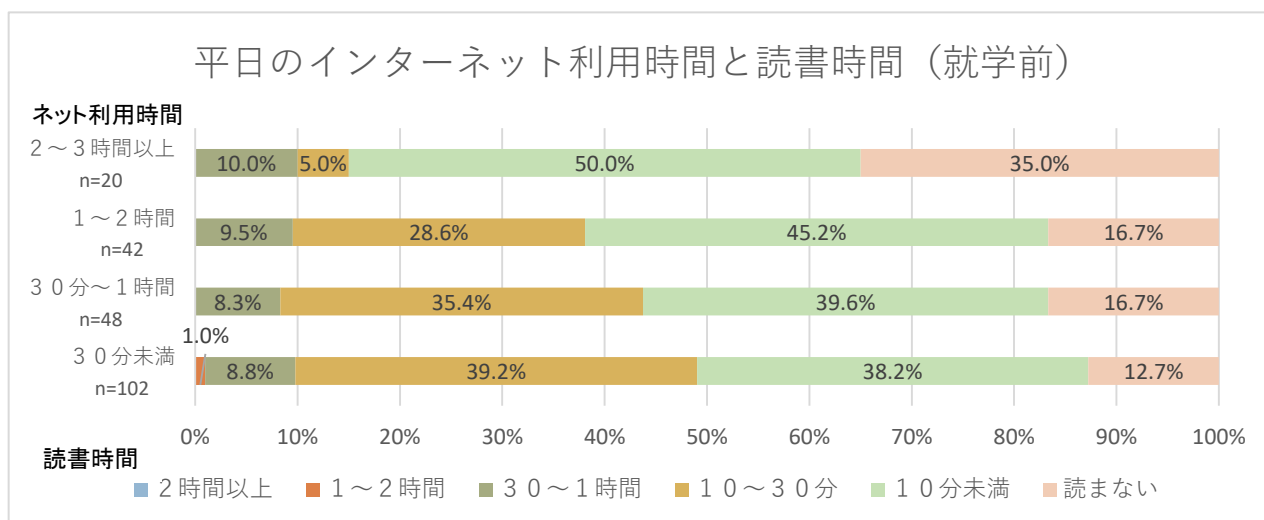


### <読書媒体別の読書実態>

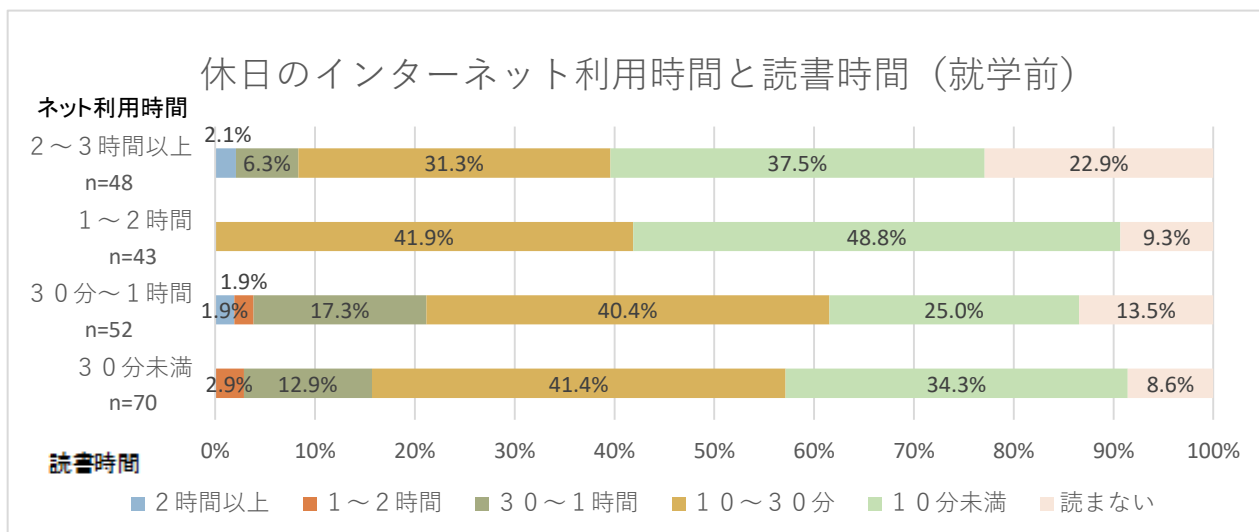
紙の本による読書が9割近くである。

※以下は、標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

### ○平日のインターネット利用時間と読書時間



### ○休日のインターネット時間と読書時間



○読書状況別のインターネット利用内容

読書状況別のインターネット利用内容（就学前）

